

チャペル週報

なぜなら、わたしたちは、人が義とされるのは律法の行いによるのではなく、信仰によると考えるからです。

(ローマの信徒への手紙 3:28)



2011.10.24.~10.28 No.18
関西学院宗教センター

☆チャペル・スケジュール☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

- 10月24日(月) 神 柳 川 真太郎 (神4)
経 舟 木 讓 (宗教主事)
人 いのちについて考える⑩ 松 岡 克 尚 (人間福祉学部教授)
聖和 聖書物語「おなかいっぱい」
-
- 10月25日(火) ランバスチャペルアワー「光との出会い」ランバス記念礼拝堂
神 ランバスチャペルアワーに合流
文 木 原 桂 二 (文学部非常勤講師)
社 秋の音楽チャペル③ バロックアンサンブル
法 山 田 直 子 (法学部准教授)
経 人間を考える④ 長谷川 哲 子 (経済学部准教授)
商 ランバスチャペルアワーに合流
国 Ruth M. Grubel (院長)
聖和 永 田 雄次郎 (文学部教授)
総 関西学院聖歌隊
-
- 10月26日(水) 神 能 勢 岳 史 (D2)
社 共に生きる② 中 道 基 夫 (神学部准教授)
法 「ハロウィーン」 Christian Morimoto Hermansen (宣教師)
経 English Music Chapel Timothy Dale Boyle (宣教師)
商 神 原 茂 樹 (商学部教授)
人 今 村 仁 美 (M2)
国 平 岩 俊 司 (国際学部教授)
聖和田 淵 結 (教育学部宗教主事)
理 学生礼拝 理工学部聖書研究部
総 村 瀬 義 史 (宗教主事)
-
- 10月27日(木) 神 David Wider (神学部教授)
文 アンドレアス・ルスターホルツ (宗教主事)
社 共に生きる③ 打 樋 啓 史 (宗教主事)
法 宗教総部の活動について 関西学院宗教総部
経 人間を考える⑤ 猪 野 弘 明 (経済学部准教授)
商 井 上 達 男 (商学部教授)
国 English Chapel Eun Ja Lee (宣教師)
聖和「召天者記念礼拝 — 特にランバスファミリーを覚えて」
小 見 のぞみ (短期大学宗教主事)
総 バロックアンサンブル
-
- 10月28日(金) 院 田 淵 結 (教育学部宗教主事)
神 宗教総部によるチャペル
文 English Chapel Andreas Rusterholz (宗教主事)
経 音楽チャペル 関西学院聖歌隊
人 武 田 文 (人間福祉学部教授)
聖和「わすれられないおくりもの」吉新 ばら(キリスト教教育・保育研究センター)
理「安息日」松 木 真 一 (宗教主事)
-

◇ランバス早天祈祷会 毎金曜日 午前8:20～8:40 於:ランバス記念礼拝堂(上ケ原)
10月28日(金)文学部のために 田 和 正 孝

宗教改革のポリフォニー

畠 山 保 男

1517年10月31日、マルティン・ルターは、ヴィッテンベルクの宮殿の礼拝堂の扉に95箇条の提題を貼り付け、討論を呼びかけた。当時のカトリック教会では、ローマの聖ペトロ大聖堂の改修工事の資金繰りのために、贖宥状を販売していた。これは罪の贖いのために教会が販売するお札であり、これを買えば聖書には記されていないが、「煉獄」にいる親族や友人の魂の滞在期間が短縮される、というのである。つまり、贖宥状の購入という行為による功績が、神によって嘉せられる、と主張された。これに対してルターは、「95箇条の提題」において「イエス・キリストが『あなた方は悔い改めよ』と語られた時、キリスト者の全生涯が悔い改めである、と言われたのである」、と主張して、人が義とされるのは行為によるのではなく、信仰によることを明らかにした。ルターの改革の主要な主題は、1. 聖書のみ 2. 信仰のみ 3. 恩寵のみ 4. キリストのみということである。これはカトリック教会の「聖書と使徒伝承」、「信仰・恩寵と行為」、「キリストとマリアおよび諸聖人の功德」という、「と」の論理に対する純化の試みだった。さらにカトリック教会の教皇を頂点とする聖職制度の否定と万人祭司の主張、この世の秩序を神の創造のままに保持しようとする「創造の秩序」という理解、この世を教会の霊的な統治と国家の世俗的統治という二つの領域に分ける「二統治説」を主張した。ルターの聖書主義は、今日世界最古のプロテスタント教会として認知されているヴァルド一派教会やルターより百年以上前のチェコのヤン・フスとフス派に遡る長い教会改革の伝統と繋がっている。その聖書主義に基づき、ルターは神のみ言葉を民衆に手渡そうとして、聖書をドイツ語に翻訳した。これにより読み書きを民衆が学ぶ学校制度が成立する。さらにジュネーヴのジャン・カルヴァンが掲げた「神にのみ栄光を」という標語は、「積極的禁欲」と呼ばれる勤勉と節約と与えられた職業を通して合理的な生き様を貫くエートスを信徒に与え、最初期の資本家がこのカルヴァン派信徒から出現し、議会制民主主義や人権における自由権の主張、近代市民社会の形成に大きな役割を果たした。最近ルター派教会とカトリック教会の間で、義認論を巡る一致を見たことも記しておきたい。

(キリスト教と文化研究センター教授)

●2011年度大学主催秋季人権問題講演会

総合テーマ：Culture of Human Rights－人権文化を育む(2010年度～2014年度)
「人災としての東北大地震 ～地球の上で人間は何をしているのか?～」

講師：桃井 和馬 氏(写真家、ジャーナリスト)

手話通訳、パソコンテイク、ビデオ撮影を予定

①11月14日(月)15:10～16:40

於：神戸三田キャンパス II号館101号教室

②11月15日(火)11:10～12:40

於：西宮上ヶ原キャンパス 関西学院会館レセプションホール

「『民政移管』後のビルマ(ミャンマー)：開発事業がもたらす環境・人権への悪影響」

講師：秋元 由紀 氏(ビルマ情報ネットワーク ディレクター)

手話通訳、パソコンテイク、ビデオ撮影を予定

と き：12月1日(木)16:50～18:20

ところ：西宮上ヶ原キャンパス B号館101号教室

●キリスト教と文化研究センター主催講演会

「宗教は戦争の原因なのか?」

講師：桃井 和馬 氏(写真家、ジャーナリスト)

と き：11月14日(月)11:10～12:40

ところ：西宮上ヶ原キャンパス B号館201号教室

写真展も開催[日時：11月10日(木)～16日(水)9時から18時(土日を除く)会場：吉岡記念館ラウンジ]

桃井氏が参加する写真家7人によるプロジェクトチーム「Eyewitness(目撃者たち)」撮影の写真展を開催します。自然の大切さ、雄大さ、またその中での破壊など、地球環境をテーマにした作品48点が集められています。

●ランバスチャペルアワー

学部の枠を超えて集まった学生主体のチャペルがランバスチャペルアワーです。秋学期の予定は以下のとおりです。

10月25日(火)「光との出会い」

11月15日(火)

いずれもランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原キャンパス)にて10:35～11:05

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アプローズタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、授業期間中の毎週金曜日にチャペルアワーを開催しています。

(18:00～18:20 1405教室)

10月28日(金)アンドレアス・ルスターホルツ(文学部宗教主事)

●CD・DVDライブラリー

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員(学生証または身分証明書必要)であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。